

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 6 月 14 日現在

機関番号：23501  
 研究種目：基盤研究（c）  
 研究期間：2008～2012  
 課題番号：20520234  
 研究課題名（和文）アメリカのジャポニズム文学とアフリカン・アメリカン・モダニズムの関係性  
 研究課題名（英文）On the Relationship between Japonism Literature and African American Modernism in the United States  
 研究代表者 中地 幸 (NAKACHI SACHI)  
 都留文科大学 文学部 教授  
 研究者番号：50247087

研究成果の概要（和文）：本研究はアメリカのジャポニズム文学とアフリカン・アメリカン・モダニズムの関係を探ることを目的とするもので、アフリカ系アメリカ人が「日本」をどのように受容したのかといった問題を『ホット・ミカド』や『スイング・ミカド』などのアフリカ系アメリカ人による演劇やリチャード・ライトの俳句を中心に調査を行い、そこに現れる人種とエキゾチシズムの問題を明らかにした。成果として関連トピックの雑誌論文10本、学会発表を14本、図書5冊を5年間に生産した。

研究成果の概要（英文）：In this project I have researched into the relationship between Japonism literature and African American modernism. Especially I examined how the image of Japan was used in African American theatrical performances such as *The Hot Mikado* and *The Swing Mikado* as well as in haiku poems by Richard Wright, focusing on race and exoticism. Through 5 years, I wrote 10 articles on the related topics and had 14 presentations in the conferences. I also contributed articles to five books.

## 交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	700,000	210,000	910,000
2009年度	700,000	210,000	910,000
2010年度	700,000	210,000	910,000
2011年度	700,000	210,000	910,000
2012年度	700,000	210,000	910,000
総計	3,500,000	1,050,000	4,550,000

研究分野：英米・英語圏文学

科研費の分科・細目：基盤研究（C）

キーワード：ジャポニズム、ジャポニスム、モダニズム、英語俳句、演劇、アフリカン・アメリカン、リチャード・ライト、プリミティヴィズム、芸術

## 1. 研究開始当初の背景

2007年度まで「アメリカのジャポニズム文学における異人種混淆とオリエンタリズム」という研究を行い、アメリカのオリエン

タリズムの構造、異人種混淆の文学としてのジャポニズム文学の役割、またアメリカのジャポニズム・ブームと日本人芸術家の貢献、

日本文化とアメリカ文化の相互影響関係を調査したが、そのときに問題として浮上したのが、アフリカ系アメリカ人による東洋へのまなごしの問題であった。というのは、アフリカ系アメリカ人にとって東洋人とは「有色人種」であり、その意味での同胞意識が強いという面において、そのオリエンタリズムの構造の中に違いが見られることがわかったからである。

## 2. 研究の目的

欧米における白人主導のジャポニズム・ブームは19世紀にはじまり、1920年代には下火になる。しかしアフリカン・アメリカン・ジャポニズムはむしろモダニズムと融合した形で1920年代以降に顕著となる。いかにジャポニズムとモダニズムがアフリカ系アメリカ文学の中で融合を見せたのかを調査することが本研究の目的であった。主軸となる計画としては、(1)『ホット・ミカド』や『スイング・ミカド』などのアフリカ系ジャポニズム演劇の調査をし、その成果を発表する、(2)モダニズムとジャポニズムを俳句芸術を軸に結び付け、その中でどのように「人種」の問題が展開されるのかを調査することだった。

## 3. 研究の方法

国内外での図書館や博物館・美術館にて資料調査と収集を行うことを基本的な方法とした。また国内外での学会発表や論文執筆を通し、海外の研究者と連絡を取り合いながら、研究を進めた。具体的に調査を行った主な場所は、ニューヨーク公立図書館、ケンブリッ

ジ大学図書館、大英図書館ほか、イギリス、フランス、アメリカの美術館・博物館である。また国外研究発表では、アメリカ、フランス、トルコ、韓国、台湾、中国、ネパールで発表の機会をもった。研究者交流としては、ケンブリッジ大学のサラ・ミーア教授、オハイオ大学アマリット・シン教授、カリフォルニア大学フレズノ校、ロク・チュア名誉教授、UCバークレー校アブドル・ジャンモハメッド教授、カンザス大学教授メアリー・エマ・グレーム教授、シカゴ州立大学准教授森川鈴子氏、コロンビア大学講師松本未生氏、中国杭州師範大学講師ミン・チェン氏、台湾東華大学准教授許甄倚氏、ネパール・トリブハン大学准教授ケシャブ・シグデル氏など多くの研究者と意見交換する機会にも恵まれた。

## 4. 研究成果

2009年度には『ホット・ミカド』の上演もロンドンで見ることができた。またアメリカのニューヨーク公立図書館で資料も集めた。調査の中で、この問題を探るにはアメリカのニューディール政策としての演劇の推進や1940年代における日本との関係の変化など政治的側面を見ることが大切であるという結論にいたった。アフリカ系アメリカ人俳句については、リチャード・ライトに焦点をしばった形である程度の成果を発表できた。初年度にリチャード・ライト生誕100年の国際学会がパリで行われ、それが研究の発表の出发点となった。当時は純粋にジャポニズムとの関係に焦点をあてたが、様々な視点から研究していくにしたがい、ブルースとの関係が重要であることがわかった。この点は

国内外で幾つか発表し、さらに講演という形で、中国やネパールで発表することで様々な国の研究者からの意見も集めることができた。また1970年代の映画におけるカンフーや、ウィニーフレッド・イートンの自伝小説について調べることで、ジャポニズムとモダニズムの関係を探ったほか、アジア圏と日本との関係についての論文も発表することができた。またポーリン・ホプキンズやネラ・ラーセンなどアフリカ系アメリカ人女性作家についても考察することができた。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 10 件)

- ① Nakachi, Sachi. “Why a Second Bomb? Kamila Shamsie’s Challenge to American Xenophobia in *Burnt Shadows*.” *Journal of Ethnic American Literature* 2 (2012):132-141. 査読有
- ② 中地幸 「パキスタン系作家 Kamila Shamsie の *Burnt Shadows* における移動する主体と傷の共有」 *AALA Journal* (2011): 21-23. 査読無
- ③ Nakachi, Sachi. “Trauma, Phantoms and Amnesia in Pauline Hopkins’ Works.” The 19<sup>th</sup> EALA Conference Proceedings. 査読無
- ④ 中地幸 「リチャード・ライトと沈黙のブルース——「世界と私の間」から俳句へ」

日本女子大学 『英米文学研究』  
46(2011): 17-42. 査読無

- ⑤ Nakachi, Sachi “Fashion and Eurasian Working Girls in Winnifred Eaton’s *Me: A Book of Remembrance* and *Marion: The Story of an Artist Model*.” Proceedings of 8th Hawaii International Conference on Arts and Humanities. CD Rom. 査読無
- ⑥ 中地幸 「奴隷制という奇妙な制度——Kara Walker が暴くアメリカの病理」 『黒人研究』79 (2010): 31-32. 査読有
- ⑦ 中地幸 「ウィニーフレッド・イートンの『私』における服飾・階級・エスニシティ——アジア系混血女性ノラの「新しい女」へのパッシング」 『多民族研究』3 (2009): 64-84. 査読有
- ⑧ 中地幸 「ポスト・ソウル世代と奴隷制——ヴィジュアル・アーティスト、キャラ・ウォーカーの世界」 『水声通信』 (2009):160-169. 査読無
- ⑨ 中地幸 「アフリカン・アメリカン・ジャポニズムとリチャード・ライトの俳句」 日本女子大学 『英米文学研究』 44(2009):23-39. 査読無
- ⑩ 中地幸 “Jim Kelly and Blaxploitation Films in the 1970s” Proceedings of

7th Hawaii International Conference on Arts and Humanities. CD Rom (2009) 査読無

[学会発表] (計 14 件)

- ① Nakachi, Sachi. “Transatlantic Slavery and the Aesthetics of Chinoiserie in Nella Larsen’s Quicksand.” 11th Hawaii International Conference on Arts and Humanities 2013年1月11日 アメリカ合衆国、ハワイ州ホノルル市、ヒルトンハワイアンヴィレッジホテル
- ② Nakachi, Sachi. “Translating Untranslatables: Theories and Practices in Translation.” 韓国英文学会全国大会 2012年12月13日 大韓民国、釜山広域市、BEXCO 釜山国際展示場
- ③ Nakachi, Sachi. “Richard Wright’s Haiku or The Poetry of Double Voice.” The Commission for Educational Exchange between the United States and Nepal 2012年11月4日 ネパール連邦民主共和国、カトマンズ、トリブハン大学
- ④ Nakachi, Sachi. “Negro Eyes or the Queer Gaze in Nella Larsen’s Passing.” 韓国フェミニスト英文学会国際大会 2012年6月8日 大韓民国、ソウル特別市、延世大学
- ⑤ Nakachi, Sachi. “The Sound of Silence: Zen and Blues in Richard Wright’s Haiku.” 浙江大学外語学院英語文学研究室主催講演会 2012年3月16日 中華民国、浙江省杭州市、浙江大学
- ⑥ Nakachi, Sachi. “Trauma, Phantoms and Amnesia in Pauline Hopkins’ Works.” 第十九回台湾英米文学国際学会 2011年11月12日 中華民国、台湾省花蓮市、東華大学
- ⑦ 中地幸 「Kamila Shamsie の *Burnt Shadows* における移動する主体と傷の共有」アジア系アメリカ文学会 第19回全国大会 2011年9月17日 東京都千代田区、共立女子大学
- ⑧ 中地幸 「ポスト・ソウルとキャラ・ウオーカー」日本アメリカ文学会第49回全国大会 2010年10月9日 東京都品川区、立正大学大崎キャンパス
- ⑨ Nakachi, Sachi “Fashion and Eurasian Working Girls in Winnifred Eaton’s *Me: A Book of Remembrance* and *Marion: The Story of an Artist Model*.” 8th Hawaii International Conference on Arts and Humanities 2010年1月12日 アメリカ合衆国、ハワイ州ホノルル市、ワイキキマリOTTホテル

- ⑩ Nakachi, Sachi “Richard Wright and Buddhist Modernism.” Ohio University English Department Graduate Symposium 2009年10月26日 アメリカ合衆国、オハイオ州アセンズ市、オハイオ大学
- ⑪ Nakachi, Sachi “Modern American Haiku and Richard Wright.” 12<sup>th</sup> International Cultural Studies Symposium 2009年4月29日 トルコ共和国、イズミル市、エーゲ大学
- ⑫ Nakachi, Sachi “Jim Kelly and Blaxploitation Films in the 1970s” 7th Hawaii International Conference on Arts and Humanities 2009年1月10日 アメリカ合衆国 ハワイ州ホノルル市、ヒルトンハワイアンヴィレッジホテル
- ⑬ Nakachi, Sachi “African American Japonisme and Richard Wright.” The International Richard Wright Centennial Conference 2008年6月20日 フランス共和国、パリ市、パリアメリカ大学
- ⑭ Nakachi, Sachi “The Representation of Asians in Hollywood Films: the Influence of Bruce Lee on Blaxploitation films in the 1970s and After” 日本アメリカ学会全国大会 2008年6月1日 京都府、京都大学

〔図書〕（計 5 件）

- ① 中地幸 都留文科大学ジェンダー研究プログラム 7 周年記念出版編集委員会編、論創社『ジェンダーが切り拓く共生社会』2013 年、153-180 頁
- ② 中地幸 松本昇他編、国文社『亡霊のアメリカ文学—豊穡なる空間』2012 年、97-111 頁
- ③ 中地幸 ソーントン不破直子他編、春風社『作品は作者を語る——アラビアン・ナイトから丸谷才一まで』2011 年、86-124 頁
- ④ 中地幸 木内徹他編、成美堂『世界文学史とはいかにして可能か』2011 年、167-192 頁
- ⑤ Nakachi, Sachi (Ed. Jianquig Zheng), University of Mississippi Press, *The Other World of Richard Wright: Perspectives on His Haiku*, 2011, 134-147 頁

〔産業財産権〕

○出願状況（計 件）

名称：  
 発明者：  
 権利者：  
 種類：  
 番号：  
 出願年月日：  
 国内外の別：

○取得状況（計 件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

中地 幸 (NAKACHI SACHI)  
都留文科大学・文学部・教授  
研究者番号：50247087

### (2) 研究分担者

( )

研究者番号：

### (3) 連携研究者

( )

研究者番号：